

取扱説明書

グロウジェクター[®] 2

品番 APG-3000



- グロウジェクター 2は、専用製剤グロウジェクトBC注射用8mg 及び A型専用注射針を取り付けて使用する、皮下投与用の成長ホルモン専用電動式医薬品注入器です。
- ご使用に際しては、医師等の指示に従い、必ずこの取扱説明書をよく読み、正しく安全にお使いください。また“安全上のご注意”（3～9ページ）も必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

グロウジェクターは、日本ケミカルリサーチ株式会社の登録商標です。

取扱説明書品番：LMQT00775-1
S0412-1082



安全上のご注意.....	3
■ 禁忌・禁止.....	3
■ 使用上の注意.....	3
■ その他の注意.....	8
お使いになる前に.....	10
■ グロウジェクター 2 のセット内容.....	10
■ 注射する前に用意するもの.....	11
■ 各部の名称と働き.....	12
■ グロウジェクター 2 の充電方法.....	16
STEP 1 注射針の取り付け.....	17
STEP 2 専用製剤の取り付け.....	19
STEP 3 専用製剤の溶解.....	23
STEP 4 空気抜き.....	25
STEP 5 注射.....	29
STEP 6 注射が終わったら.....	33
STEP 7 2回目以降の注射準備.....	36
STEP 8 専用製剤の取りはずし.....	41
メニュー操作.....	42
■ 空気抜き.....	44
■ 履歴確認：(1) 投与履歴を確認する場合.....	46
■ 履歴確認：(2) イラストを確認する場合.....	47
■ 設定内容確認.....	48
■ 画面設定：(1) 背景色を変更する場合.....	49
■ 画面設定：(2) イラストを変更する場合.....	50
■ 音設定.....	51
■ 薬の強制交換.....	52
専用製剤溶解後 42日 が過ぎた場合.....	54
その他.....	55
■ 保守・点検方法.....	55
■ お手入れ方法.....	55
■ 保管方法.....	56
■ 耐用期間及び廃棄に関して.....	56
お知らせ表示一覧.....	57
注射部位の選び方 (参考).....	59
グロウジェクター 2 についての Q&A.....	60
グロウジェクトお客様相談窓口.....	64
仕様.....	65
■ 仕様.....	65
■ 使用している記号の説明.....	65

⚠ 禁忌・禁止

- (1) グロウジェクター2は専用製剤グロウジェクトBC注射用8mg（以下専用製剤という）以外には使用しないでください。
- (2) グロウジェクター2は皮下投与以外の目的には使用しないでください。
- (3) グロウジェクター2、A型専用注射針及び専用製剤は他の人と共用しないでください。（感染症の原因となるおそれがあります）
- (4) 一度使用したA型専用注射針は再使用しないでください。毎回新しいA型専用注射針を使用してください。（感染症の原因となるおそれがあります）
- (5) グロウジェクター2は、専用製剤及び医師等の指示によるA型専用注射針との組み合わせ以外では使用しないでください。（他の製剤及び注射針を使用した場合の精度は確認していません）
- (6) 専用製剤のみ冷蔵庫に保存し、グロウジェクター2は冷蔵庫に入れないでください。（結露するおそれがあります）

⚠ 使用上の注意


- (1) 必ずこの取扱説明書を熟読してご使用ください。
- (2) ご使用や投与に関しては、必ず医師等の指示に従ってください。投与量は医師により設定されていますので、使用時に投与量を設定する必要はありません。
- (3) 破損したグロウジェクター2は使用しないでください。
- (4) グロウジェクター2を操作するときは、針先を人のいる方向に向けしないでください。（針刺し事故になるおそれや薬液が目に入るおそれがあります）
- (5) グロウジェクター2の取り扱い（操作）が容易でない方（小児や弱視の方等）は、グロウジェクター2の操作方法の訓練を受けた方の手助けを受けてください。
- (6) 必ず医師等の指示によるA型専用注射針のみ使用してください。


⚠ 使用上の注意


- (7) グロウジェクター2とA型専用注射針を取り付けた専用製剤の使用中に液漏れ等の不具合が認められた場合には、新しいA型専用注射針と専用製剤に取り替えてください。(正しく投与できないおそれがあります)
- (8) 取り扱い時は針部に、直接触れないでください。(針刺し事故になるおそれがあります)
- (9) 使用後のA型専用注射針は針ケースを取り付けた後、すぐに取りはずしてください。その際、針キャップは取り付けないでください。(針刺し事故になるおそれがあります)
- (10) 使用後のA型専用注射針と消毒用アルコール綿は医師等の指示に従って、安全に廃棄してください。(感染症の原因となるおそれがあります)
- (11) A型専用注射針の保護シールが破損している場合は使用しないでください。(感染症の原因となるおそれがあります)
- (12) 曲がった注射針や曲がった注射針を元に戻して、使用しないでください。(注射針が折れ、体内に残ってしまうおそれがあります)
- (13) 専用製剤がひび割れ等破損している場合は使用しないでください。
- (14) 専用製剤は溶解後42日以内で使用してください。42日を過ぎるとエラーが表示され使用できません。
- (15) 専用製剤のラベルに記載された使用期限を過ぎたものは使用しないでください。
- (16) 使用中の専用製剤以外は取り付けないでください。(専用製剤交換時を除く)誤って他の専用製剤を取り付けると、液漏れや投与量が不正確になるおそれがあります。
- (17) 専用製剤が完全に溶けなかった場合、または浮遊物がみられた場合には使用しないでください。
- (18) 投与量、表示部の表示内容または操作等に疑問が生じたら使用せず、医師等に相談してください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。



- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（図記号は例です）

  してはいけない内容です。

  実行しなければならない内容です。

危険



禁止

- 内蔵の充電電池は、本製品専用の充電式電池です。解体し本製品以外に使用しない。
- 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。
発熱・発火・破裂の原因となります。



禁止

- 専用充電台は本製品専用の充電器です。本製品以外の充電には使用しない。
電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。
- 必ず、付属の専用 ACアダプタ及び電源コードを使用する。
火災・感電の原因となります。

警告



禁止

● 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

● 内蔵の充電電池から電解液が漏れている場合には電解液に触れない。
電解液が目に入ったとき失明のおそれがあります。



ぬれ手禁止

● ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
感電の原因となります。



水ぬれ禁止

● ぬらさない。
発火・感電の原因となります。



分解禁止

● 絶対に分解や修理・改造をしない。
内部にさわると感電の原因となります。



接触禁止

● 雷がなったら、コンセントに接続している専用 ACアダプタ、専用充電台、本製品には触れない。
感電の原因となります。



必ず守る

● コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない。
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

● 電源プラグのほこり等は定期的にとる。
電源プラグにはこり等がたまると、湿度等で絶縁不良となり、火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

● 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

● 専用充電台の中に、硬貨や指輪などの金属物を入れない。
感電・ショート・火災の原因となります。



電源プラグを抜く

● 煙が出たり、変なにおいや音がしたら、電源プラグをコンセントから抜く。

● 内部に水や異物が入ったときや外装ケースが破損したときは、使用をやめ電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、ショート・発火の原因となります。

注意



禁 止

- 本製品や専用充電台を不安定な場所に置かない。落下などにより、けがの原因となります。



必ず守る

- 電源コードを抜くときは必ず電源プラグを持って抜く。電源コードが破損すると、感電の原因となります。

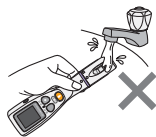
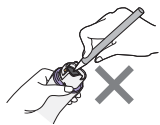


電源プラグを抜く

- お手入れの際は、本製品の電源を切り、安全のため電源プラグを抜く。感電の原因となります。

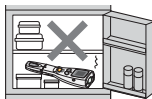
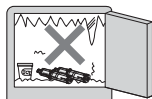
その他の注意

- (1) 落としたり、乱暴に扱わないでください。内部の装置が破損することがあります。
- (2) 本体の内部をついたり、分解や改造をしないでください。内部の装置が破損することがあります。
- (3) グロウジェクター2の耐用期間は、使用開始から3年です。交換時期が来ましたら医師へご相談ください。
- (4) 耐用期間が過ぎた場合や、使用を中止する場合は、専用充電台や専用ACアダプタ等を含めグロウジェクター2一式を医療機関に返却する等、医師等の指示に従ってください。
- (5) 電子レンジ、携帯電話等、電磁波の発生する電子機器の近くでは操作しないでください。内部の装置が正常に動作しないおそれがあります。
- (6) グロウジェクター2及び専用充電台、専用ACアダプタを水等、液体で濡らさないでください。空気抜きや注射により、漏れた薬液は、乾いた布等で拭き取ってください。
- (7) 洗浄や消毒のために、水洗いや消毒用薬品等の液体に浸したりしないでください。本体内部に液体が浸入した場合、故障するおそれがあります。
- (8) グロウジェクター2は日本国内専用のため、海外では使用しないでください。
- (9) グロウジェクター2が正常動作をしなくなった場合は使用を中止し、医師等に相談してください。
- (10) 子供や他の人の手の届かない場所に保管してください。
- (11) 溶解していない専用製剤は包装箱に入れたままの状態、冷蔵庫の凍結しない場所に保存してください。



その他の注意

- (12) 溶解後の専用製剤はグロウジェクター2からはずした後、注射針をはずし、冷蔵保存ケースに入れた状態で、冷蔵庫の凍結しない場所に保存してください。
- (13) グロウジェクター2は、専用充電台にセットして、一般的な生活環境（温度：10℃～40℃）の清潔な場所に保管してください。直射日光の当たる場所や車内等の高温になるおそれのある場所、結露するおそれがあるため冷蔵庫や凍結するおそれのある低温の場所、ほこりや湯気が当たる場所には保管しないでください。
- (14) 注射後、使い終わったA型専用注射針を取り付けたままで保管しないでください。
- (15) 次回の使用に支障のないように、グロウジェクター2は必ず清潔にしておいてください。汚れたときは“お手入れ方法”（55ページ）に従いお手入れをしてください。
- (16) “保守・点検方法”（55ページ）に従い保守・点検事項を実施してください。
- (17) 本体と先端キャップを無理やり取りはずさないでください。必ず本体の灰色の●印と先端キャップの灰色の■印を合わせてから取りはずしてください。
- (18) 薬液が目や皮膚に付着した場合は、ただちに水で洗い流してください。洗い流した後、違和感等があれば医師に相談してください。



ご不明な点は、

“グロウジェクトお客様相談窓口”

（フリーコール：0120-999-393）（64ページ）までお問い合わせください。

お使いになる前に

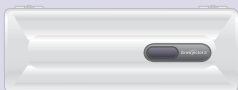
■ グロウジェクター2のセット内容

本製品がお手元に届きましたら、セット内容を確認してください。☑

グロウジェクター2… 1



専用充電台… 1



専用 AC アダプタ… 1



冷蔵保存ケース… 1



使用開始シール… 1

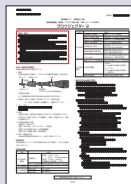
※ 使用開始前に記入し専用充電台等に貼ってください。



取扱説明書（本書）… 1



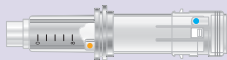
添付文書… 1



■ 注射する前に用意するもの

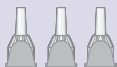
専用製剤グロウジェクトBC注射用8mg

※本文中では専用製剤と記載します。



A型専用注射針

※本文中では注射針と記載します。



※ 医薬品・ワクチン注入用針「BDオートシールド」を除く
(2012年8月時点)

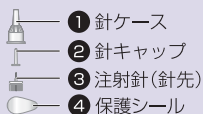
消毒用アルコール綿



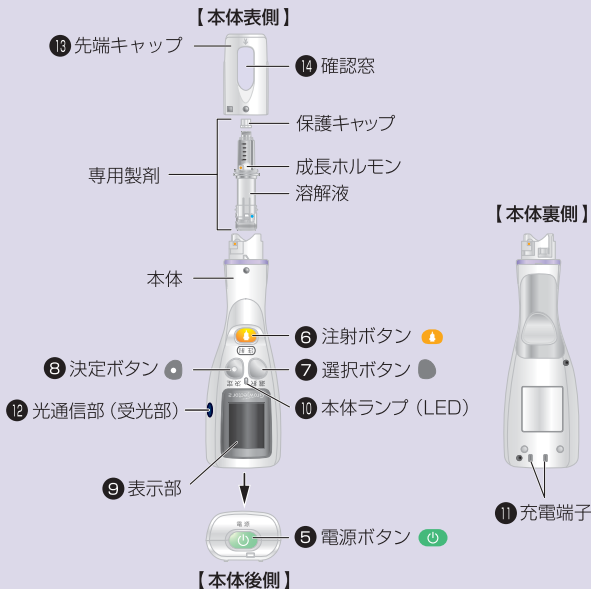
お使いになる前に(つづき)

■ 各部の名称と働き

A 型専用注射針



グロウジェクター2



A型専用注射針 ※ 使用する注射針により名称が異なる場合があります。

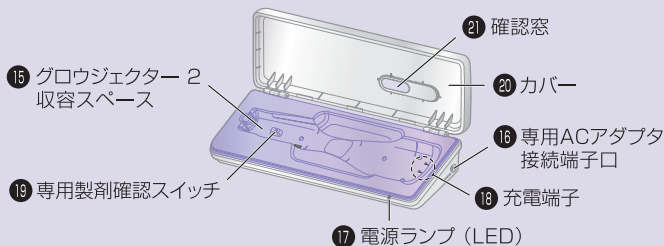
名称	働き
① 針ケース	<ul style="list-style-type: none"> • A型専用注射針の保護ケースです。 • 取り付け/取りはずしのときに持って使用します。
② 針キャップ	<ul style="list-style-type: none"> • 針先を保護するキャップです。
③ 注射針（針先）	<ul style="list-style-type: none"> • 針先から薬液が出ます。
④ 保護シール	<ul style="list-style-type: none"> • 使用前の注射針を清潔に保ちます。

グロウジェクター2

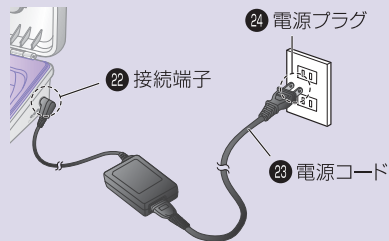
名称	働き
⑤ 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> • グロウジェクター2の電源の入/切ができます。
⑥ 注射ボタン	<ul style="list-style-type: none"> • 空気抜きや注射をするときに使用します。長押しすると、注射針が先端キャップの先端部から飛び出し、空気や薬液が押し出されます。 • メニュー操作（空気抜き）で選択するときに使用します。
⑦ 選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> • メニュー操作をするときに使用します。長押しすると、メニュー画面に入ります。 • 各種メニュー画面で、各メニューを選択するときに使用します。
⑧ 決定ボタン	<ul style="list-style-type: none"> • 各種の画面で、確認や決定するときに使用します。
⑨ 表示部	<ul style="list-style-type: none"> • 操作手順を表示します。 • お知らせ内容やエラーが発生した場合には表示します。詳しい表示内容は、“お知らせ表示一覧”（57ページ）をご参照ください。
⑩ 本体ランプ（LED）	<ul style="list-style-type: none"> • グロウジェクター2の状態をお知らせします。 充電中：黄緑色点灯（充電が完了すると消灯します） 空気抜き中、注射中：黄緑色点滅
⑪ 充電端子	<ul style="list-style-type: none"> • 専用充電台にセットしたとき、専用充電台の充電端子と接触して充電します。
⑫ 光通信部（受光部）	<ul style="list-style-type: none"> • 医療機関で使う専用入力装置のデータを受信するための部分です。
⑬ 先端キャップ	<ul style="list-style-type: none"> • 注射針を保護します。専用製剤を本体に取り付けるときには、取りはずします。 • 注射時に先端部を注射部位に押し当てます。 • 注射や空気抜きのときに、先端部から注射針が飛び出ます。
⑭ 確認窓	<ul style="list-style-type: none"> • 取り付けた専用製剤を確認するときに使用します。

お使いになる前に (つづき)

専用充電台



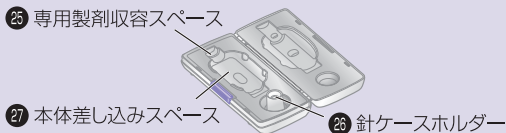
専用 AC アダプタ



注意

付属の電源コードを接続した、専用 AC アダプタ以外は使用しないでください。

冷蔵保存ケース



専用充電台

名称	働き
15 グロウジェクター 2 収容スペース	• 充電や保管をするときに、グロージェクター 2 をここにセットします。
16 専用 ACアダプタ 接続端子口	• グロウジェクター 2 を充電するときに、専用 ACアダプタの接続端子を接続します。
17 電源ランプ (LED)	• 電源が供給されているときに点灯します。 通電中：黄緑色点灯
18 充電端子	• グロウジェクター 2 をセットしたとき、グロージェクター 2 の充電端子と接触して充電します。
19 専用製剤確認スイッチ	• 専用製剤を本体に取り付けたまま、専用充電台にセットしていないか検知します。 • 専用製剤を検知したときは警告音が鳴ります。
20 カバー	• 専用充電台のカバーです。
21 確認窓	• 専用充電台のカバーを閉じた状態で、グロージェクター 2 の本体ランプの状態を確認することができます。

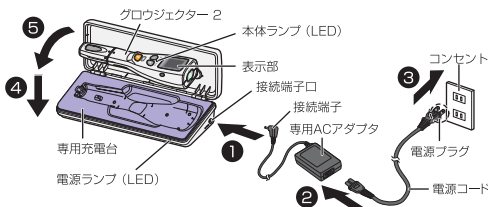
専用 ACアダプタ

名称	働き
22 接続端子	• 専用充電台の専用 ACアダプタ接続端子口に接続します。
23 電源コード	• 専用 ACアダプタ専用の電源コードです。
24 電源プラグ	• 充電するときに、コンセントに接続します。

冷蔵保存ケース

名称	働き
25 専用製剤収容スペース	• 注射後に取りはずした専用製剤を入れます。
26 針ケースホルダー	• 注射前に取りはずした針ケースを置きます。 • 注射後に針ケースを注射針に取り付けるときに使用します。
27 本体差し込みスペース	• 溶解時に本体を差し込み、立てることができます。

■ グロウジェクター 2の充電方法



- 1 専用充電台の接続端子口と専用 ACアダプタの接続端子を接続します。
- 2 電源コードを専用 ACアダプタに接続します。
- 3 電源プラグをコンセントに接続します。その際に専用充電台の電源ランプ(LED)が点灯(黄緑色)していることを確認します。
- 4 グロウジェクター2は電源を切り、本体の表示部を上にしてグロージェクター2収容スペースにセットします。その際に本体ランプ(LED)が点灯(黄緑色)することを必ず確認します。充電が完了すると本体ランプ(LED)のみ消灯します。既に十分充電している場合は、すぐに消灯します。
- 5 充電中はカバーを閉じます。

注意

- 専用製剤は取りはずしてから充電してください。
- 使用後は必ず充電してください。
- 充電は10℃～40℃で行ってください。それ以外の温度では、充電できない場合があります。
- 15℃～40℃では満充電におよそ2時間かかります。10℃～15℃では充電時間が長くなる場合があります。

こ ん な と き

本体に専用製剤を取り付けたままの状態や、先端キャップの取り付け位置が正しくない状態でセットすると、警告音が鳴ります。

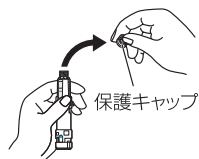
注射の前に

専用製剤は、注射をするおよそ30分前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻してください。

- 1 専用製剤先端部の保護キャップを取りはずし、先端部のゴム栓を消毒用アルコール綿で拭きます。

拭き取り後は、消毒したところに触れないように気を付けます。

保護キャップは注射後に使いますので、捨てずに清潔な場所に置きます。



- 2 注射針の保護シールをはがします。

このとき針に触れないように十分気を付けます。

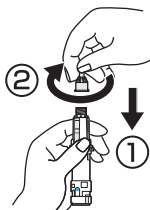


注意

- 針刺し事故に十分気を付けてください。
- 注射針の保護シールが破損している場合は使用しないでください。
- 注射は毎回新しい注射針を使用し、再使用は絶対にしないでください。
- 曲がった注射針は絶対に使用しないでください。

STEP1 注射針の取り付け(つづき)

- 3 専用製剤を立てた状態にして、注射針を専用製剤先端のゴム栓に矢印①の方向にまっすぐに押し入れた後、注射針を少し押しながら止まるまで矢印②の方向に回して、しっかりと取り付けます。




注意

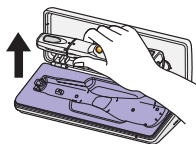
注射針の取り付けが不十分な場合、注射できなかったり、針先以外から薬液が漏れるおそれがあります。

STEP2

専用製剤の取り付け

- 1 本体の中央部分を持ち、専用充電台より取りはずし、本体の電源ボタン  を押して、電源を入れます。スタートアップ画面が表示され起動します。

本体を操作するときは、表示部に表示された文字の方向に合わせて、本体を持って操作を行います。







電源ボタン 





こ ん な と き

グロウジェクター2は、お知らせ内容やエラーが発生した場合に、本体の表示部にその内容を表示します。表示部に以下の内容が表示された場合は、「内容と対応」を確認し、操作してください。

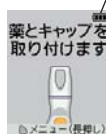
また正しく操作しても動作しない場合は、「グロウジェクトお客様相談窓口」（フリーコール：0120-999-393）（64ページ）までご連絡ください。

表示	内容と対応
 充電不足です 	充電不足です。 ▶ 電源ボタン  を押して電源を切った後、「グロウジェクター2の充電方法」（16ページ）をご参照のうえ、ただちに専用充電台にセットして充電してください。充電不足のときは電源ボタン  のみ使用でき、注射操作はできません。

- 表示部右上の電池マーク  は電池の残量を示しています。残量が少量を示しているとき () は、使用後に必ず充電してください。
- 背景色を、自分の好みの色に変更することができます。変更するときは、「メニュー操作（画面設定：（1）背景色を変更する場合）」（49ページ）をご参照ください。背景色の変更により、電源を入れたときのスタートアップ画面も変更されます。（背景色の初期設定は青色です）

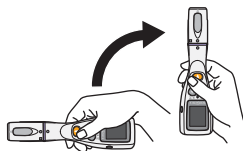


▼ 電池マーク



STEP2 専用製剤の取り付け(つづき)

- 2 本体の注射針側を上に向けます。
上に向けると、表示部に「薬とキャップを取り付けます」と表示されます。

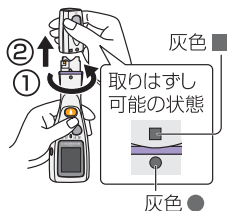


こんなとき

注射針側が上を向いていない場合、表示部に「注射針側を上に向けます」と表示されます。



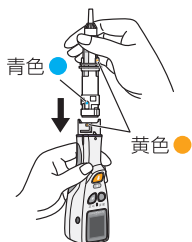
- 3 先端キャップを本体の灰色の●印と先端キャップの灰色の■印が合うまで矢印①の方向に回した後、先端キャップを矢印②の方向に取りはずします。



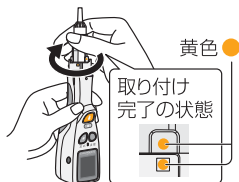
- 4 専用製剤の注射針側を上方向にして、専用製剤の青色の●印と本体の黄色の●印を合わせて、奥まで差し込みます。

注意

専用製剤の青色の●印と本体の黄色の●印が合わない状態や、専用製剤に注射針を取り付けていない状態で無理に差し込むと、専用製剤や本体が破損し、注射できなくなるおそれがあります。



- 5 専用製剤を奥まで差し込んだ後、専用製剤を本体の黄色の●印と専用製剤の黄色の●印が合うまで矢印①の方向に回して（“カチッ”と止まる場所まで）、取り付けます。




- 6 先端キャップの灰色の■印と本体の灰色の●印が合うように矢印①の方向に奥まで差し込んだ後、先端キャップを本体の灰色の●印と先端キャップの灰色の●印が合うまで矢印②の方向に回して、取り付けます。

注意

専用製剤や先端キャップの取り付けが不十分な場合、次の操作に進まなくなります。また、操作中にエラーメッセージが表示されます。



STEP2 専用製剤の取り付け(つづき)

- 7 表示部に「薬の装着ができたら」と表示されます。正しく取り付けていることを確認し、決定ボタン  を押します。




こんなとき

注射針側が上を向いていない場合、表示部に「注射針側を上に向けます」と表示されます。



- 8 表示部が「薬の溶解を開始します」に切り替わります。



- 1 注射針側を上に向けた状態で決定ボタン  を押すと、自動溶解が開始します。

表示部が「溶解中です」に切り替わりますので、溶解が終了するまで、注射針側を上に向けた状態を保持します。

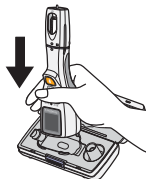





注意

針先以外から液漏れが確認された場合は使用を中止し、“メニュー操作（薬の強制交換）”（52ページ）をご参照のうえ、新しい専用製剤に交換してください。

こんなとき

- 本体を冷蔵保存ケースに立てた状態で自動溶解をすることができます。本体を転倒させないように十分気を付けてください。
- 自動溶解中や注射中に音（ブザーやメロディ）が鳴ります。音を変更したり、鳴らさない設定もできます。変更するときは、“メニュー操作（音設定）”（51ページ）をご参照のうえ、変更してください。



表示	内容と対応
 注射針側を上に向けましょう	注射針側が上方向ではなく傾いています。 ▶ 注射針側を上に向けて操作してください。
 注射針と薬の装着を確認しましょう	注射針または、専用製剤が正しく取り付けられていません。 ▶ 再度取り付け直してください。
 キャップの装着を確認しましょう	先端キャップが正しく取り付けられていません。 ▶ 再度取り付け直してください。

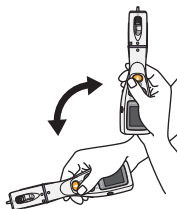
STEP3 専用製剤の溶解(つづき)

- 2 自動溶解が終了すると、表示部が「ゆっくり振ります」に切り替わります。

製剤が完全に溶けるまで、針先を上下にゆっくり振り、製剤を溶解します。

注意

激しく振らないでください。
激しく振ると、薬液が泡立つ(気泡が発生する)おそれがあります。



- 3 表示部が「薬の溶解ができたら」に切り替わります。

先端キャップの確認窓から専用製剤内を見て、製剤が完全に溶解しているか確認します。

溶解ができれば決定ボタン●を押します。
製剤がまだ完全に溶けていない場合は、再度上下にゆっくり振ります。



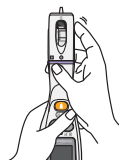
こ ん な と き

製剤が完全に溶けなかった場合、または浮遊物がみられる場合には使用を中止してください。電源ボタン●を押して電源を切った後、再度電源を入れてください。そのあと、“メニュー操作(薬の強制交換)”(52ページ)をご参照のうえ、新しい専用製剤に交換してください。

- 1 表示部に「空気抜きを開始します」と表示されます。



- 2 注射針側を上方向にして、専用製剤内の空気が注射針方向に集まるように指先で軽くたたきます。(小さな気泡が専用製剤内の壁面に残っていても問題ありません)

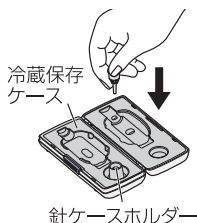


- 3 針ケースをまっすぐ引っ張り、取りはずします。取りはずした針ケースは、注射後に使いますので、冷蔵保存ケースの針ケースホルダーに置きます。次に針キャップをまっすぐ引っ張り、取りはずします。


取りはずした針キャップは、廃棄します。

注意

- 針キャップを取りはずすときに、針刺し事故に十分気を付けてください。
- 曲がった注射針は絶対に使用しないでください。



STEP4 空気抜き(つづき)

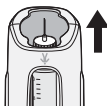
- 4 注射針側を上方向にして、注射ボタンを長押しします。表示部が「注射針が出ます」に切り替わります。

注射針が先端キャップの先端部から飛び出して、空気と薬液が押し出されます。







注意

- 針刺し事故に十分気を付けてください。
- 先端キャップの中を覗きこまないでください。注射針や薬液が出てきます。

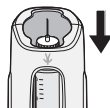


こ ん な と き

表示	内容と対応
 注射針側を上に向けて ましよう	注射針側が上方向ではなく傾いています。 ▶ 注射針側を上に向けて操作してください。
 注射針と薬の 状態を確認 ましよう	注射針または、専用製剤が正しく取り付けられていません。 ▶ 再度取り付け直してください。 針ケースを取りはずしている場合は、針刺し事故に十分気を付け、針ケースを取り付けてから行ってください。
 キャップの 状態を確認 ましよう	先端キャップが正しく取り付けられていません。 ▶ 再度取り付け直してください。
 注射針を確認 ましよう <small>0249</small>	注射針の針つまりや、注射針が正しく取り付けられていない可能性があります。 ▶ 注射針は“STEP6 注射が終わったら”(33ページ)をご参照のうえ取りはずし、新しい注射針に交換して再度空気抜きを行ってください。

- 5 空気抜きをしている間、表示部に「空気抜き中」と表示され、注射針が出た状態で本体ランプ(LED)が点滅(黄緑色)します。

終了すると注射針が先端キャップより引込み、表示部が「針先から薬液が出たら」に切り替わります。針先から薬液が出てきたら空気抜き完了ですので、決定ボタン●を押します。



注意

- 空気抜きが不十分な場合、投与量に影響することがあります。
- 注射針側を上に向けて空気抜きをしないと、空気がうまく抜けないことがあります。
- 薬液が目や皮膚に付着した場合は、ただちに水で洗い流してください。洗い流した後、違和感があれば医師に相談してください。
- 薬液が専用製剤のまわりに付着した場合は、注射が終わって注射針を取りはずした後、清潔な乾いた布等で拭き取ってください。

薬液が出る
完了

薬液が出ない
不十分

こんなとき

針先から薬液が出てこない場合は、注射ボタン●を長押しし、再度空気抜きを行います。針先から薬液が出てきた場合は決定ボタン●を押します。空気抜きは、専用製剤交換後8回まですることができます。(空気抜きを追加で行っても、1本の専用製剤で注射できる量が減ることはありません)

表示	内容と対応
	<p>空気抜き回数が8回を超えています。</p> <p>▶ 8回を超えた場合は、空気抜き動作が停止しますので、決定ボタン●を押してください。表示部が「薬の準備が終わりました」に切り替わります。</p>
	<p>空気抜き回数が8回を超えても、空気抜きが不十分な場合は、「グロージェクトお客様相談窓口」(フリーコール: 0120-999-393) (64ページ) までご連絡ください。</p>

STEP4 空気抜き(つづき)

- 6 表示部が「薬の準備が終わりました」から、「注射できます 残り：○回」に切り替わります。

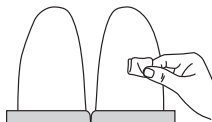



注射部位は医師等の指示に従い、「注射部位の選び方（参考）」（59ページ）をご参照ください。

- 1 注射部位を消毒用アルコール綿で拭きます。


注射が終わるまで注射部位には触れないようにします。

<太ももの場合>

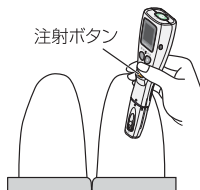


- 2 表示部が見えるように本体を握ります。注射部位に先端キャップの先端部を垂直に押し当て、注射ボタン  を長押しします。

注意

- 注射する時以外は注射ボタン  を押さないでください。
- 注射部位に先端キャップの先端部を強く押し当て過ぎないでください。

注射ボタン












- 3 表示部が「注射できます」から「注射中」に切り替わるとともに、注射針が自動で注射部位に刺さり、本体ランプ（LED）が点滅（黄緑色）し薬液が自動で注入されます。



STEP5 注射(つづき)

こ ん な と き

表示	内容と対応
 注射針と薬の 装着を確認 しましょう	注射針または、専用製剤が正しく取り付けられていません。 ▶ 再度取り付け直してください。 針ケースを取りはずしている場合は、針刺し事故に十分気を付け、針ケースを取り付けてから行ってください。
 キャップの 装着を確認 しましょう	先端キャップが正しく取り付けられていません。 ▶ 再度取り付け直してください。
 注射針を確認 しましょう <small>決定</small>	注射針の針つまりや、注射針が正しく取り付けられていない等の異常があります。 ▶ 注射針は“STEP6 注射が終わったら”(33ページ)をご参照のうえ取りはずし、新しい注射針に交換して再度注射を行ってください。
 正常に注射針 が刺さりませ んでした <small>終了</small>	正常に注射針が刺さりませんでした。 ▶ 電源ボタン  を押して電源を切ると解除されます。薬液は出ていませんので、針ケースや針キャップが取り付けられたままになっていないか等を確認し、再度注射を行ってください。
 正常に注射針 が抜けませ んでした <small>終了</small>	正常に注射針が抜けませんでした。 ▶ 本体を注射部位からゆっくり離してください。(このとき先端キャップの先端部から針先が出ていますので、針刺し事故に十分気を付けてください) 本体の電源ボタン  を押して電源を切った後、もう一度電源ボタン  を押して注射針が正常な位置に戻ったことを確認します。その後電源を切り、“STEP6 注射が終わったら”(33ページ)をご参照のうえ、注射針を取りはずしてください。

上記操作を行っても  が消えない場合は、“グロウジェクトお客様相談窓口”(フリーコール: 0120-999-393)(64ページ)までご連絡ください。

- 4 注射が終了したら本体ランプ(LED)が消え、注射部位から自動的に注射針が抜かれます。表示部に「注射が終わりました 残り〇回注射できます」と表示されますので、本体を注射部位から離します。その後「イラスト」画面に切り替わります。注射部位は消毒用アルコール綿で軽く押さえます。



注意

「注射が終わりました」と表示されるまで、本体を動かさないでください。

こ ん な と き

- 注射後、針先や注射した場所に少量の薬液が付いていることがありますが、注射量には影響ありません。

- 残りの注射回数が少なくなったときは、新しい専用製剤を用意してください。

- 専用製剤 1 本分の最後の注射が終わると表示部が「注射が終わりました」、「イラスト」画面に続いて、「お待ちください」に切り替わります。

▶ “STEP8 専用製剤の取りはずし” (41 ページ) をご参照のうえ、専用製剤を取りはずしてください。



- 注射後に表示されるイラストを変更することができます。変更するときは、“メニュー操作 (画面設定: (2) イラストを変更する場合)” (50 ページ) をご参照のうえ、変更してください。

「イラスト」画面は、注射する毎に 1 コマずつランダムに変化して 6 ~ 7 回で完成します。(2 時間以内に再度注射をした場合は変化しません)

(例)



STEP5 注射(つづき)

- 5 電源ボタン  を押すと表示部が「薬を取り外します」に切り替わります。

電源ボタン 



こんなとき

グロウジェクター 2 に専用製剤を取り付けたままの状態専用充電台にセットすると、警告音が鳴ります。

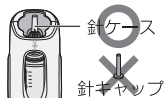
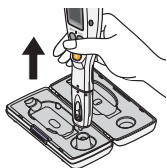
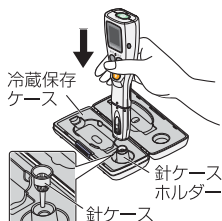
- ▶ 注射後、専用製剤は冷蔵保存ケースに入れて冷蔵庫に保存する必要があります。
“STEP6 注射が終わったら” (33ページ) をご参照のうえ、専用製剤を取りはずしてください。

- 1 冷蔵保存ケースの針ケースホルダーに置いた針ケースに、先端キャップをしっかりと差し込みます。

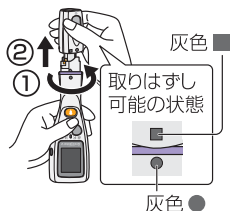
本体を持ち上げ、注射針に針ケースが取り付けられていることを確認します。

注意

- 針刺し事故に十分気を付けてください。
- 手で注射針に直接針ケースを取り付けしないでください。



- 2 先端キャップを本体の灰色の●印と先端キャップの灰色の■印が合うまで矢印①の方向に回した後、先端キャップを矢印②の方向に取りはずします。



STEP6 注射が終わったら(つづき)

- 3 針ケースを触らないように専用製剤の目盛りの付いている部分を持って、専用製剤を止まるまで矢印①の方向に回した後、専用製剤を矢印②の方向に取りはずします。

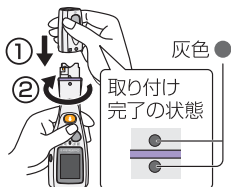
専用製剤を取りはずすと、自動で電源が切れます。



注意

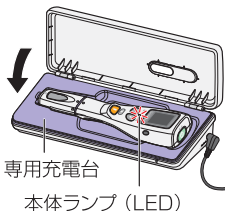
針先以外から液漏れが確認された場合は使用を中止し、“メニュー操作(薬の強制交換)”(52ページ)をご参照のうえ、新しい専用製剤に交換してください。

- 4 先端キャップの灰色の■印と本体の灰色の●印が合うように矢印①の方向に奥まで差し込んだ後、先端キャップを本体の灰色の●印と先端キャップの灰色の●印が合うまで矢印②の方向に回して、取り付けます。



- 5 本体の電源が切れていることを確認し、本体を専用充電台にセットし、専用充電台のカバーを閉じます。

必ず本体ランプ(LED)が点灯(黄緑色)していることを確認します。
(充電が完了すると消灯します。既に十分充電している場合は、すぐに消灯します)

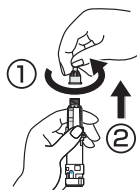


こんなとき

本体に専用製剤を取り付けたままの状態や、先端キャップの取り付け位置が正しくない状態でセットすると、警告音が鳴ります。

- 6 針ケースが取り付けられた状態の使用済みの注射針を矢印①の方向に十分に回した後、注射針を矢印②の方向に取りはずします。

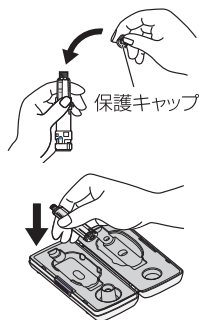
使用済みの注射針は、医師等の指示に従って安全に廃棄します。



注意

- 使用済みの注射針は、感染症の原因となるおそれがありますので、医師等の指示に従って安全に廃棄してください。
- 針刺し事故に十分気を付けてください。
- 専用製剤のまわりに薬液が付着した場合は、注射が終わって注射針を取りはずした後、清潔な乾いた布等で拭き取ってください。薬液が本体内に入ると故障のおそれがあります。

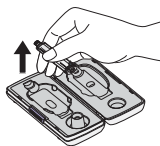
- 7 専用製剤に注射前に取りはずした保護キャップを取り付け、冷蔵保存ケースに入れて、冷蔵庫に保存します。



注射の前に

専用製剤は、注射をするおおよそ30分前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻してください。

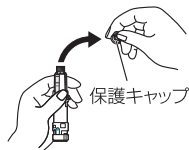
- 1 専用製剤の準備を行います。
冷蔵保存ケースから専用製剤を取り出します。



- 2 専用製剤先端部の保護キャップを取りはずし、先端部のゴム栓を消毒用アルコール綿で拭きます。

拭き取り後は、消毒したところに触れないように気を付けます。

保護キャップは注射後に使いますので、捨てずに清潔な場所に置きます。



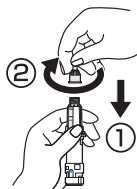
- 3 注射針の保護シールをはがします。
このとき針に触れないように十分気を付けます。



注意


- 針刺し事故に十分気を付けてください。
- 注射針の保護シールが破損している場合は使用しないでください。
- 注射は毎回新しい注射針を使用し、再使用は絶対にしないでください。
- 曲がった注射針は絶対に使用しないでください。

- 4 専用製剤を立てた状態にして、注射針を専用製剤先端のゴム栓に矢印①の方向にまっすぐに押し入れた後、注射針を少し押しながら止まるまで矢印②の方向に回して、しっかりと取り付けます。

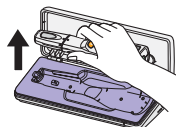


注意

注射針の取り付けが不十分な場合、注射できなかったり、針先以外から薬液が漏れるおそれがあります。

- 5 本体の中央部分を持ち、専用充電台より取りはずし、本体の電源ボタン  を押して、電源を入れます。


スタートアップ画面の後、「薬とキャップを取り付けます」が表示されます。



電源ボタン 

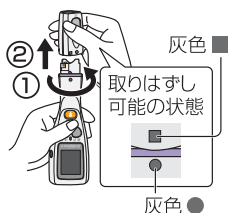


こ ん な と き

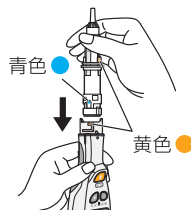
表示	内容と対応
 薬の使用期限が過ぎました	専用製剤の使用期限は、製剤を溶解した日から42日間です。 ▶ 専用製剤の残量にかかわらず、新しい専用製剤と交換してください。交換するときは、「専用製剤溶解後42日が過ぎた場合」(54ページ)をご参照のうえ、新しい専用製剤に交換してください。

STEP7 2回目以降の注射準備(つづき)

- 6 先端キャップを本体の灰色の●印と先端キャップの灰色の■印が合うまで矢印①の方向に回した後、先端キャップを矢印②の方向に取りはずします。



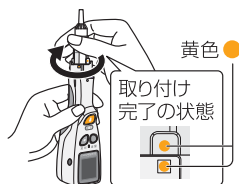
- 7 専用製剤の注射針側を上方向にして、専用製剤の青色の●印と本体の黄色の●印を合わせて、奥まで差し込みます。



注意

- 専用製剤の青色の●印と本体の黄色の●印が合わない状態や、専用製剤に注射針を取り付けていない状態で無理に差し込むと、専用製剤や本体が破損し、注射できなくなるおそれがあります。
- 針先以外から液漏れが確認された場合は使用を中止し、“メニュー操作(薬の強制交換)”(52ページ)をご参照のうえ、新しい専用製剤に交換してください。

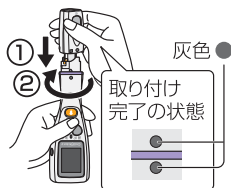
- 8 専用製剤を奥まで差し込んだ後、専用製剤を本体の黄色の●印と専用製剤の黄色の●印が合うまで矢印の方向に回して(“カチッ”と止まるころまで)、取り付けます。



- 9 先端キャップの灰色の■印と本体の灰色の●印が合うように矢印①の方向に奥まで差し込んだ後、先端キャップを本体の灰色の●印と先端キャップの灰色の●印が合うまで矢印②の方向に回して、取り付けます。

注意

専用製剤や先端キャップの取り付けが不十分な場合、次の操作に進まなくなります。
また、操作中にエラーメッセージが表示されます。



- 10 表示部に「準備中です」と表示されます。動作中は先端キャップは取り付けておきます。



- 11 表示部が「注射できます 残り：○回」に切り替わります。



STEP7 2回目以降の注射準備(つづき)

12 針ケースをまっすぐ引っ張り、取りはずします。取りはずした針ケースは、注射後に使いますので、冷蔵保存ケースの針ケースホルダーに置きます。次に針キャップをまっすぐ引っ張り、取りはずします。

取りはずした針キャップは、廃棄します。

針ケース、針キャップを取りはずしたら“STEP5 注射”(29ページ)に戻り、注射を行います。注射後は、“STEP6 注射が終わったら”(33ページ)に進み、専用製剤を取りはずします。



針ケースホルダー



注意

- 針キャップを取りはずすときに、針刺し事故に十分気を付けてください。
- 曲がった注射針は絶対に使用しないでください。

こ ん な と き

- 専用製剤内に空気が残っている場合は、空気抜きをすることができます。空気抜きは、専用製剤交換後8回まですることができます。(空気抜きを追加で行っても、1本の専用製剤で注射できる量が減ることはありません) 空気抜きをする時は、“メニュー操作(空気抜き)”(44ページ)をご参照のうえ、空気抜きを行ってください。
- 空気抜き後は、“STEP5 注射”(29ページ)に戻り、注射を行います。注射後は、“STEP6 注射が終わったら”(33ページ)に進み、専用製剤を取りはずします。

- 1 専用製剤1本分の最後の注射が終わると、表示部が「注射が終わりました」、「イラスト」画面に続いて、「お待ちください」に切り替わります。

動作中は、先端キャップと専用製剤は取り付けておきます。



- 2 専用製剤が取りはずし可能な状態になると、表示部が「薬を取り外します」に切り替わります。



- 3 “STEP6 注射が終わったら” (33ページ) をご参照のうえ、専用製剤を取りはずし、先端キャップを取り付けます。

- 4 電源ボタン  を押して電源を切った後、本体を専用充電台にセットして保管します。


- 5 取りはずした専用製剤から、注射針を取りはずします。使用済みの専用製剤と注射針は医師等の指示に従って安全に廃棄します。

次回注射時



次回注射するときは、“STEP 1 注射針の取り付け” (17ページ) に戻ります。

メニュー操作


メニューの操作をすることにより、空気抜き、履歴確認や画面設定などを行うことができます。

- 1 本体の電源ボタン  を押して、電源を入れます。
スタートアップ画面の後、表示部に画面が表示されます。

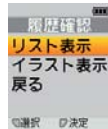
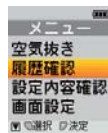
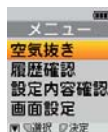


- 2 表示部の下部に、「メニュー（長押し）」と表示がある状態で選択ボタン  を長押しすると、『メニュー』画面が表示されます。



- 3 選択ボタン  を押すごとに、各メニューを選択することができます。

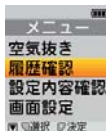
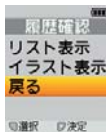
次に、決定ボタン  を押すことにより、各メニュー画面に切り替わります。



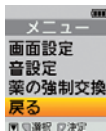
メニュー	内容と対応
空気抜き	注射する前に空気抜きをすることができます。 “空気抜き”（44ページ）をご参照ください。
履歴確認	投与履歴や前回の注射後に表示したイラストを確認することができます。 “履歴確認:(1) 投与履歴を確認する場合”（46ページ）、“履歴確認:(2) イラストを確認する場合”（47ページ）をご参照ください。
設定内容確認	医療機関で設定された投与量を確認することができます。 “設定内容確認”（48ページ）をご参照ください。 (投与量等の設定内容は医師により設定されますので、この画面では設定内容を変更することはできません)
画面設定	背景色や注射後に表示されるイラストを変更することができます。 “画面設定:(1) 背景色を変更する場合”（49ページ）、“画面設定:(2) イラストを変更する場合”（50ページ）をご参照ください。
音設定	自動溶解中や注射中の音を変更したり、鳴らさない設定ができます。 “音設定”（51ページ）をご参照ください。
薬の強制交換	専用製剤の強制交換をすることができます。 “薬の強制交換”（52ページ）をご参照ください。
戻る	メニュー画面を終了することができます。

- 4 各メニューを終了する時は、選択ボタン ● を押して「戻る」を選択します。

次に、決定ボタン ● を押すと『メニュー』画面に戻ります。（自動で終了する画面もあります）



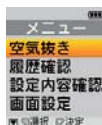
- 5 メニュー操作を終了する時は、選択ボタン ● を押して「戻る」を選択し、決定ボタン ● を押すと終了します。



■ 空気抜き

注射する前に、専用製剤内に空気が残っている場合は空気抜きをすることができます。空気抜きは、専用製剤交換後8回まですることができます。(空気抜きを追加行っても、1本の専用製剤で注射できる量が減ることはありません)

- 1 「メニュー」画面を表示後、選択ボタン ● で「空気抜き」を選択し、決定ボタン ● を押します。



- 2 「注射針側を上に向けます」の表示に切り替わります。



注射針側を上に向けると、『空気抜き』画面に切り替わり、「始めますか? やめる ● 始める ●」と表示されます。



- 3 「始める ●」(注射ボタン ●) を長押しすると、「注射針が出ます」と表示された後「空気抜き中」に切り替わり、注射針が出て空気抜きを行います。



空気抜きをしない場合は、「やめる ●」(決定ボタン ●) を押すと『メニュー』画面に戻ります。






注意

針刺し事故に十分気を付けてください。

4 空気抜き実施後、自動で『メニュー』画面に戻ります。



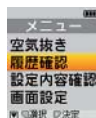
こ ん な と き

表示	内容と対応
 <p>これ以上は 空気抜きが できません <small>決定</small></p> <p>▼</p> 	<p>空気抜き回数が8回を超えています。</p> <p>▶ 8回を超えた場合は、空気抜き動作が停止しますので、決定ボタン  を押してください。表示部が『メニュー』画面に戻ります。</p> <p>空気抜き回数が8回を超えても、空気抜きが不十分な場合は、“グロウジェットお客様相談窓口”（フリーコール：0120-999-393）（64ページ）までご連絡ください。</p>

■ 履歴確認：(1) 投与履歴を確認する場合

投与履歴を確認することができます。

- 1 『メニュー』画面を表示後、選択ボタン●で「履歴確認」を選択し、決定ボタン●を押します。



- 2 『履歴確認』画面に切り替わります。選択ボタン●で「リスト表示」を選択し、決定ボタン●を押します。



- 3 『投与履歴』画面に切り替わり、1週間分の投与履歴を確認することができます。

選択ボタン●(前の7日)を押すと、更に過去の投与履歴を確認することができます。(111日前までの履歴が残っています)

← : 投与あり

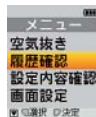
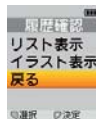
← : 投与なし



- 4 決定ボタン●(戻る)を押すと、『履歴確認』画面に戻ります。



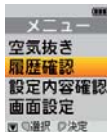
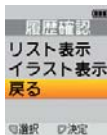
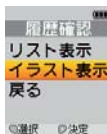
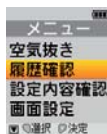
- 5 選択ボタン●で「戻る」を選択し、決定ボタン●を押すと、『メニュー』画面に戻ります。



履歴確認：(2) イラストを確認する場合

前回の注射後に表示したイラストを確認することができます。

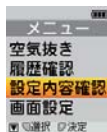
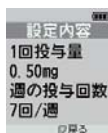
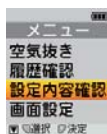
- 1 『メニュー』画面を表示後、選択ボタン●で「履歴確認」を選択し、決定ボタン○を押します。
- 2 『履歴確認』画面に切り替わります。選択ボタン●で「イラスト表示」を選択し、決定ボタン○を押します。
- 3 前回の注射後に表示したイラストを確認することができます。
- 4 決定ボタン○（戻る）を押すと、『履歴確認』画面に戻ります。
- 5 選択ボタン●で「戻る」を選択し、決定ボタン○を押すと、『メニュー』画面に戻ります。



■ 設定内容確認

医療機関で設定された投与量を確認することができます。

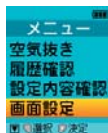
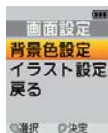
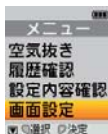
- 1 『メニュー』画面を表示後、選択ボタン ● で「設定内容確認」を選択し、決定ボタン ● を押します。
- 2 『設定内容』画面に切り替わり、投与量の設定内容を確認することができます。
- 3 決定ボタン ● (戻る) を押すと、『メニュー』画面に戻ります。



■ 画面設定：(1) 背景色を変更する場合

背景色を、自分の好みの色に変更することができます。背景色の変更により、電源を入れたときのスタートアップ画面も変更されます。

- 1 『メニュー』画面を表示後、選択ボタン ● で「画面設定」を選択し、決定ボタン ● を押します。
- 2 『画面設定』画面に切り替わります。選択ボタン ● で「背景色設定」を選択し、決定ボタン ● を押します。
- 3 『背景色設定』画面に切り替わり、背景色を選択できる画面が表示されます。
- 4 選択ボタン ● で変更したい色を選択し、決定ボタン ● を押します。選択した背景色に変更された『画面設定』画面に戻ります。
- 5 選択ボタン ● で「戻る」を選択し、決定ボタン ● を押し、『メニュー』画面に戻ります。



■ 画面設定：(2) イラストを変更する場合

注射後に表示されるイラストを変更することができます。

- 1 『メニュー』画面を表示後、選択ボタン●で「画面設定」を選択し、決定ボタン○を押します。
- 2 『画面設定』画面に切り替わります。選択ボタン●で「イラスト設定」を選択し、決定ボタン○を押します。
- 3 『イラスト設定』画面に切り替わり、イラストを選択できる画面が表示されます。
- 4 選択ボタン●で変更したいイラストを選択し、決定ボタン○を押すと、『画面設定』画面に戻ります。
- 5 選択ボタン●で「戻る」を選択し、決定ボタン○を押すと、『メニュー』画面に戻ります。

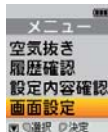
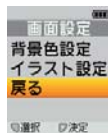
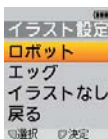
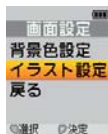
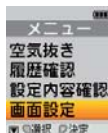
(イラスト例)



エッグ



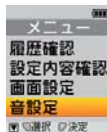
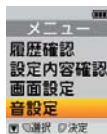
ロボット



■ 音設定

自動溶解中や注射中の音を変更したり、鳴らさない設定ができます。

- 1 『メニュー』画面を表示後、選択ボタン ● で「音設定」を選択し、決定ボタン ● を押します。
- 2 『音設定』画面に切り替わります。
選択ボタン ● で変更したいメロディーかブザーを選択し、決定ボタン ● を押します。
- 3 音が変更され、『メニュー』画面に戻ります。



■ 薬の強制交換

専用製剤に異常が見られる場合等、新しい専用製剤に交換したいときに行います。

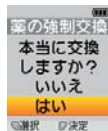
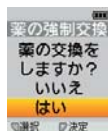
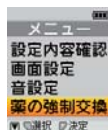
「薬の強制交換」は、先端キャップを必ず本体に取り付けた状態で操作してください。

注意

薬の強制交換の操作をせずに、新しい専用製剤を取り付けると液漏れが発生し、正しい注射を行うことができなくなります。

- 1 『メニュー』画面を表示後、選択ボタン●で「薬の強制交換」を選択し、決定ボタン●を押します。
- 2 『薬の強制交換』画面に切り替わります。「薬の交換をしますか? いいえ はい」と表示されます。選択ボタン●で「はい」を選択し、決定ボタン●を押します。

薬の交換をしない場合は、「いいえ」を選択し、決定ボタン●を押すと、『メニュー』画面に戻ります。
- 3 再確認画面「本当に交換しますか? いいえ はい」が表示されます。選択ボタン●で「はい」を選択し、決定ボタン●を押します。





- 4 表示部が「お待ちください」に切り替わります。
動作中は、先端キャップは取り付けておきます。

専用製剤が取りはずし可能な状態になると、表示部が「薬を取り外します」に切り替わります。



こ ん な と き

表示	内容と対応
	先端キャップが正しく取り付けられていません。 ▶ 再度取り付け直してください。

- 5 “STEP6 注射が終わったら” (33ページ) をご参照のうえ、専用製剤を取りはずし、電源ボタン  を押して電源を切ります。

取りはずした専用製剤から、注射針を取りはずします。使用済みの専用製剤と注射針は医師等の指示に従って安全に廃棄します。

注意



強制交換をして取りはずした専用製剤は再使用をしないでください。

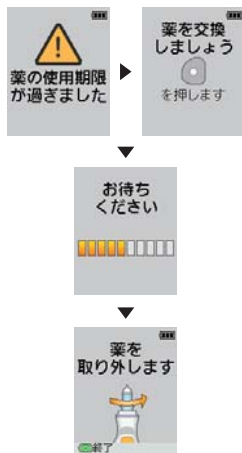
次 回 注 射 時

次回注射するときは、“STEP 1 注射針の取り付け” (17ページ) に戻ります。

専用製剤溶解後42日が過ぎた場合

専用製剤は溶解してから42日以内で使用してください。42日を過ぎると電源を入れた時に表示部に「薬の使用期限が過ぎました」と表示されます。以下の手順で専用製剤を取りはずしてください。

- 1 表示部に「薬の使用期限が過ぎました」と表示された後、「薬を交換しましょう」に切り替わります。
- 2 決定ボタン  を押すと、表示部が「お待ちください」に切り替わります。動作中は先端キャップと専用製剤は取り付けておきます。
- 3 専用製剤が取りはずし可能な状態になると、表示部が「薬を取り外します」に切り替わります。
- 4 “STEP6 注射が終わったら” (33ページ) をご参照のうえ、専用製剤を取りはずし、電源ボタン  を押して電源を切ります。



取りはずした専用製剤から、注射針を取りはずします。使用済みの専用製剤と注射針は医師等の指示に従って安全に廃棄します。

注意

溶解後42日を過ぎて取りはずした専用製剤は再使用をしないでください。

次回注射時

次回注射するときは、“STEP1 注射針の取り付け” (17ページ) に戻ります。

■ 保守・点検方法

ご使用の前後には、グロウジェクター2や専用充電台の点検を行ってください。

● 日常点検

- ① 使用前：外観を確認し、汚れや破損がないか確認してください。
- ② 使用中：正常に動作をしているか確認してください。
- ③ 使用后：次回に備えて、汚れや破損がないか確認してください。

● 診察時

投与量設定を医師に確認いただくため、グロウジェクター2を必ず医療機関に持参してください。

■ お手入れ方法

● 普段のお手入れ

グロウジェクター2の外側と専用充電台を、乾いたやわらかい布で拭いてください。

● 月に一度のお手入れ

グロウジェクター2及び専用充電台の充電端子を、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。(汚れていると充電できなかったり、充電時間が長くなる場合があります)

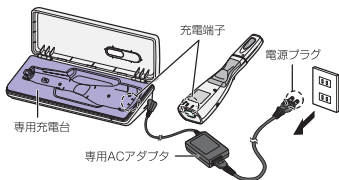
専用 AC アダプタの電源プラグも、乾いたやわらかい布で拭いてください。

● 汚れがひどいとき

汚れがひどい場合は、やわらかい布に、水または薄めた中性洗剤をしみこませ、よく絞った状態で拭いてください。

● 次のものは使わない

石油 / みがき粉 / シナー / ベンジン / ワックス / 熱湯 / せっけん等を使うと、変色・変質等のおそれがあります。



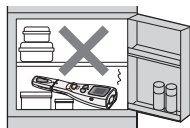
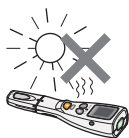
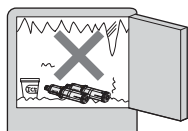
注意

- 本体の電源を切ってからお手入れしてください。
- 専用 AC アダプタの電源プラグを、コンセントから抜いてお手入れしてください。
- 布が充電端子に引っかかったときは、無理に引っ張らないでください。(充電端子が変形すると充電できないおそれがあります)
- 本体の内部をついたり、分解や改造をしないでください。
- 洗浄や消毒のために、水洗いや消毒用薬品等の液体に浸したりしないでください。



■ 保管方法

- 使用後は必ず充電してから清潔な場所に保管してください。
- 溶解していない専用製剤は包装箱に入れたままの状態、冷蔵庫の凍結しない場所に保存してください。
- 溶解後の専用製剤は本体からはずした後、注射針をはずし、冷蔵保存ケースに入れた状態で、冷蔵庫の凍結しない場所に保存してください。
- グロウジェクター2は、専用充電台にセットして、一般的な生活環境(温度: 10℃~40℃)の、清潔な場所に保管してください。
直射日光の当たる場所や車内等の高温になるおそれのある場所、結露するおそれがあるため冷蔵庫や凍結するおそれのある低温の場所、ほこりや湯気が当たる場所には保管しないでください。
- 子供や他の人の手の届かない場所に保管してください。



注意

使い終わった注射針を取り付けたままで保存しないでください。

■ 耐用期間及び廃棄に関して

- グロウジェクター2の耐用期間は、使用開始から3年です。交換時期が近づいてきたら医師等へご相談ください。
- 耐用期間が過ぎた場合や、使用を中止する場合は、専用充電台や専用ACアダプタ等を含めグロウジェクター2一式を医療機関に返却する等、医師等の指示に従ってください。
- 使用済みの注射針、消毒用アルコール綿及び専用製剤は、医師等の指示に従って、安全に廃棄してください。










注意

グロウジェクター2内にはリチウムイオン電池を内蔵しています。誤って火への投入・加熱をすると発熱・発火・破裂の原因になります。

お知らせ表示一覧










グロウジェクター 2 は、お知らせ内容やエラーが発生した場合に、表示部にその内容を表示します。表示部に以下の内容が表示された場合は、「内容と対応」を確認し、操作してください。

また正しく操作しても動作しない場合は、「**グロウジェクトお客様相談窓口**」（フリーコール：0120-999-393）（64ページ）までご連絡ください。

表示	内容と対応
 注射針側を上に向けてみましょう	注射針側が上方向ではなく傾いています。 ▶ 注射針側を上に向けて操作してください。
 注射針と薬の装着を確認しましょう	注射針または、専用製剤が正しく取り付けられていません。 ▶ 再度取り付け直してください。 針ケースを取りはずしている場合は、針刺し事故に十分気を付け、針ケースを取り付けてから行ってください。
 キャップの装着を確認しましょう	先端キャップが正しく取り付けられていません。 ▶ 再度取り付け直してください。
 充電不足です 07	充電不足です。 ▶ 電源ボタン  を押しして電源を切った後、「グロウジェクター 2 の充電方法」（16 ページ）をご参照のうえ、ただちに専用充電台にセットして充電してください。充電不足のときは電源ボタン  のみ使用でき、注射操作はできません。
 注射針を確認しましょう 0決定	注射針の針つまりや、注射針が正しく取り付けられていない等の異常があります。 ▶ 新しい注射針に交換して、再度行ってください。
 これ以上は空気抜きができません 0決定	空気抜き回数が8回を超えています。 ▶ 8回を超えた場合は、空気抜き動作が停止しますので、決定ボタン  を押ししてください。表示部が「薬の準備が終わりました」または「メニュー」画面に切り替わります。 空気抜き回数が8回を超えても、空気抜きが不十分な場合は、「グロウジェクトお客様相談窓口」（フリーコール：0120-999-393）（64ページ）までご連絡ください。

お知らせ表示一覧(つづき)

正しく操作しても動作しない場合は、「グロウジェクトお客様相談窓口」(フリーコール:0120-999-393)(64ページ)までご連絡ください。

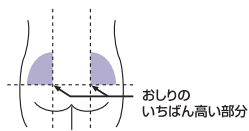
表示	内容と対応
 <p>正常に注射針が刺さりませんでした</p>	<p>正常に注射針が刺さりませんでした。</p> <p>▶ 電源ボタン  を押して電源を切ると解除されます。薬液は出ているので、針ケースや針キャップが取り付けられたままになっていないか等を確認し、再度操作を行ってください。</p>
 <p>正常に注射針が抜けませんでした</p>	<p>正常に注射針が抜けませんでした。</p> <p>▶ 本体を注射部位からゆっくり離してください。(このとき先端キャップの先端部から針先が出ていますので、針刺し事故に十分気を付けてください)</p> <p>本体の電源ボタン  を押して電源を切った後、もう一度電源ボタン  を押して注射針が正常な位置に戻ったことを確認します。その後電源を切り、注射針を取りはずしてください。</p>
 <p>薬の使用期限が過ぎました</p>	<p>専用製剤の使用期限は、製剤を溶解した日から42日間です。</p> <p>▶ 専用製剤の残量にかかわらず、新しい専用製剤と交換してください。交換するときは、「専用製剤溶解後42日が過ぎた場合」(54ページ)をご参照のうえ、新しい専用製剤に交換してください。</p>
<p>本体期限が近づいてきています</p>	<p>グロウジェクター2の耐用期間は使用開始から3年間です。残りの期間が3ヶ月以下になると、電源を入れるたびに表示されます。</p> <p>▶ 通常どおり使用できますが、耐用期間内に交換できるように医師に連絡し、期限内に新しいグロウジェクター2に交換してください。</p>
 <p>本体期限が間近です</p>	<p>グロウジェクター2の耐用期間は使用開始から3年間です。残りの期間が1ヶ月以下になると、電源を入れるたびに表示されます。</p> <p>▶ 通常どおり使用できますが、耐用期間内に交換できるように医師に連絡し、期限内に新しいグロウジェクター2に交換してください。</p>
 <p>本体期限が過ぎました</p>	<p>グロウジェクター2の耐用期間が終了していますので、電源が入っても使用することはできません。</p> <p>▶ ただちに医師に連絡し、新しいグロウジェクター2に交換してください。</p>
 <p>本体異常です 使用できません</p>	<p>注射動作が正常に行われない状態になっていて、使用することができません。</p> <p>▶ 「グロウジェクトお客様相談窓口」(フリーコール:0120-999-393)(64ページ)までご連絡ください。</p>

注射部位の選び方（参考）

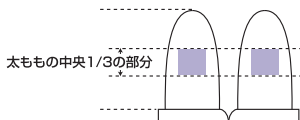
※ 注射部位は医師等の指示に従ってください。

- 皮下注射をする場所としてふさわしいのは、おしりあるいは太ももの前面です。
- お子さんが小さくて家族の方が注射する場合には、おしりが良いでしょう。自分でするときは、太ももの前面にします。
- 注射する部位は、注射のたびに変わってください。今日右側にしたら、次は左側にするようにします。
- 忘れないように、記録しておきましょう。

おしり（子供をうつぶせにして注射します） ■ 注射部位



太もも（いすに座って注射します） ■ 注射部位



グロウジェクター 2 についての Q&A

グロウジェクター 2 の操作中、困ったときにご参照ください。
表示部にお知らせ表示があるときは、「お知らせ表示一覧」(57ページ)をご参照ください。
また正しく操作しても正常に動作しない場合は、「グロウジェクトお客様相談窓口」(フリーコール: 0120-999-393) (64ページ) までご連絡ください。

Q.1

本体の電源ボタン  を押したが電源が入らない。

A.1

充電が十分でない可能性があります。
“グロウジェクター 2 の充電方法” (16ページ) をご参照のうえ、本体を専用充電台にきちんとセットしてください。
このときに、本体ランプ(LED)が点灯(黄緑色)していることを必ず確認してください。

Q.2

専用充電台をコンセントに接続したが、専用充電台の電源ランプ(LED)がつかない。

A.2

“グロウジェクター 2 の充電方法” (16ページ) をご参照のうえ、接続方法を確認し、専用充電台の電源ランプ(LED)が点灯(黄緑色)していることを確認してください。

Q.3

専用充電台にセットしても、本体の本体ランプ(LED)が点灯しない。または、点灯してもすぐに消えてしまう。



A.3

本体ランプ(LED)は、満充電の状態のときには消灯します。満充電ではなく本体ランプ(LED)が点灯しない場合は、本体と専用充電台の充電端子が汚れている可能性があります。
“お手入れ方法” (55ページ) をご参照のうえ、それぞれの充電端子を拭き、再度充電してください。

Q.4

専用製剤と先端キャップを取り付けているのに、「薬とキャップを取り付けます」と表示されて、操作を進めることができない。

A.4

専用製剤の取り付け位置がずれている可能性があります。
“STEP2 専用製剤の取り付け” 手順 5 (21ページ) をご参照のうえ、専用製剤の黄色の  印と本体の黄色の  印が合っていることを確認してください。

Q.5

「これ以上は空気抜きができません」と表示されるまで空気抜きの操作を行ったが、空気がまだたくさん残っている。


A.5

残っている空気が小さな気泡であれば、気にすることはありません。そのまま使用してください。

なお、専用製剤の注射針側を上に向けて見たときに、専用製剤の側面に付いている目盛りの0よりも下まで空気の層がある場合は、正常に溶解できていないことが考えられます。

“グロウジェクトお客様相談窓口”（フリーコール：0120-999-393）（64ページ）までご連絡ください。

Q.6

空気抜き時に注射ボタン  を長押ししたが、注射針から薬液が出てこない。

A.6

専用製剤の中にある空気が多く、1回の空気抜きで空気が抜けきれていない可能性があります。針先から薬液が出てくるまで、再度空気抜きを行ってください。

注射針の針つまりなどの可能性があります。繰り返し空気抜きを行っても針先から薬液が出てこない場合は、注射針を交換してください。

Q.7

先端キャップが、本体からはずれない。

A.7

本体の灰色の●印と、先端キャップの灰色の■印がきちんと合っていますか？

▶ “STEP2 専用製剤の取り付け” 手順3（20ページ）をご参照のうえ、先端キャップを取りはずしてください。

Q.8

専用製剤が、本体からはずれない。

A.8

“STEP6 注射が終わったら” 手順3（34ページ）をご参照のうえ、専用製剤を取りはずしてください。固くて回しにくい場合は、輪ゴム、指サックなどで専用製剤をくるみ、回してください。

Q.9

専用製剤内の、薬液残量を確認する方法はあるのか？

A.9

専用製剤の側面に付いている目盛りで知ることができます。1目盛りは、おおよそ2mgに相当します。

グロウジェクター 2 についての Q&A (つづき)

グロウジェクター 2 の操作中、困ったときにご参照ください。
表示部にお知らせ表示があるときは、“お知らせ表示一覧” (57 ページ) をご参照ください。
また正しく操作しても正常に動作しない場合は、“グロウジェクトお客様相談窓口” (フリーコール: 0120-999-393) (64 ページ) までご連絡ください。

Q.10
注射が正常にできない。

A.10

注射針に異常はありませんか？

▶ 新しい注射針に交換してください。

注射針は、専用製剤にきちんと取り付けられていますか？

▶ “STEP1 注射針の取り付け” (17 ページ) をご参照のうえ、操作を確認してください。

専用製剤は、本体にきちんと取り付けられていますか？

▶ “STEP2 専用製剤の取り付け” 手順 4 及び手順 5 (21 ページ) をご参照のうえ、操作を確認してください。

先端キャップは、本体にきちんと取り付けられていますか？

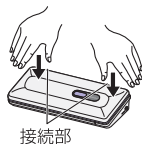
▶ “STEP2 専用製剤の取り付け” 手順 6 (21 ページ) をご参照のうえ、操作を確認してください。

Q.11
専用充電台のカバーがはずれてしまった。

A.11

閉じたような状態になるようにカバーを専用充電台の上に置きます。

カバーの上部 (専用充電台との接続部) 近くを上から音がするまで押すと、元に戻ります。



Q.12
専用製剤を本体にセットしたまま、落としてしまった。

A.12

破損または動作に問題がある場合は、“グロウジェクトお客様相談窓口” (フリーコール: 0120-999-393) (64 ページ) までご連絡ください。

Q.13

表示部に「本体異常です」が表示されている。

A.13

本体に異常があります。使用することはできません。

“グロージェクトお客様相談窓口”（フリーコール：0120-999-393）（64 ページ）までご連絡ください。

グロウジェクトお客様相談窓口

製品に対するお問い合わせや異常時は、下記グロウジェクトお客様相談窓口にご連絡ください。

グロウジェクトお客様相談窓口

フリーコール **0120-999-393**

オペレーター対応 / 9:00～17:00
(土・日・祝祭日・会社休日を除く)

留守番電話対応 / 17:00～9:00
(留守番電話対応は翌営業日にご連絡致します)

携帯電話からの通話もできます。






病気やお薬に関するご質問は、医師や薬剤師の先生方にご相談ください。

仕様

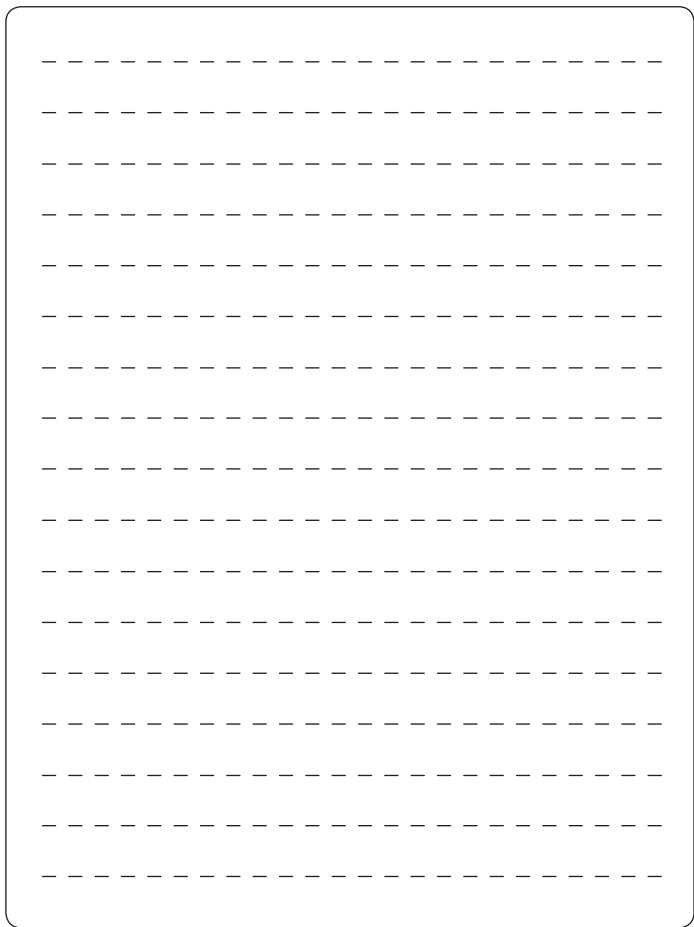
仕様

電源	グロウジェクター-2	内部電源機器：直流3.7V 325 mAh (充電池：リチウムイオン二次電池)
	専用 ACアダプタ	国内専用： 入力 交流 100 V 50/60 Hz 21 VA 出力 直流 5.0 V 1.6 A
形状 及び 寸法	グロウジェクター-2	W 58 mm × D 42 mm × L 221 mm
	専用 ACアダプタ	W 22 mm × D 46 mm × L 76 mm
	電源コード	L 1,850 mm
	専用充電台	W 100 mm × D 63 mm × L 262 mm
質量	グロウジェクター-2	200 g
	専用 ACアダプタ	100 g
	電源コード	85 g
	専用充電台	310 g
使用 / 充電 / 保管時の 環境条件 (開梱後)	温度：10℃～40℃ 湿度：30%RH～80%RH (但し結露しないこと) 気圧：700 hPa～1060 hPa	
輸送 / 保管時の環境条件 (梱包状態)	温度：0℃～50℃ 湿度：10%RH～80%RH (但し結露しないこと)	

使用している記号の説明

記号	説明	使用場所
	B形装着部	グロウジェクター-2
	クラスII機器	専用 ACアダプタ
	屋内使用専用	専用 ACアダプタ

A large rectangular area with rounded corners, containing 18 horizontal dashed lines for writing.



グロウジェクトお客様相談窓口

フリーコール **0120-999-393**

オペレーター対応 / 9:00～17:00
(土・日・祝祭日・会社休日を除く)

留守番電話対応 / 17:00～9:00
(留守番電話対応は翌営業日にご連絡致します)

携帯電話からの通話もできます。



病気やお薬に関するご質問は、医師や薬剤師の先生方にご相談ください。

製造販売元

パナソニック ヘルスケア株式会社

〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5 西新橋MFビル

© Panasonic Healthcare Co., Ltd. 2012

販売元

日本ケミカルリサーチ株式会社

〒659-0021 兵庫県芦屋市春日町3-19

取扱説明書品番：LMQT00775-1
S0412-1082



LMQT00775-1